

製品名: GRK 5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11776**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	GRK5
別名	GRK5; GPRK5; G protein-coupled receptor kinase 5; G protein-coupled receptor kinase GRK5
遺伝子 ID	2869.0
SwissProt ID	P34947
免疫原	抗血清はヒト GRK5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 351-400

背景

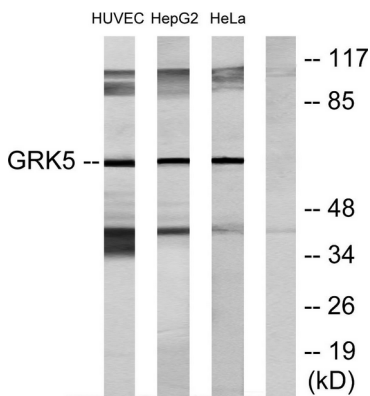
この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのGアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体キナーゼサブファミリーのメンバーをコードします。このタンパク質は、Gタンパク質共役受容体の活性型をリン酸化することで、その不活

性を開始します。また、多形核白血球 (PMN) の運動能を調節する役割も果たすことが示されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + [G タンパク質共役受容体] = ADP + [G タンパク質共役受容体] リン酸。機能: G タンパク質共役受容体の活性化型を特異的にリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。GPRK サブファミリー。類似性:AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含みます。類似性:タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含みます。類似性:RGS ドメインを 1 つ含みます。組織特異性:心臓、胎盤、肺 > 骨格筋 > 脳、肝臓、膵臓 > 腎臓の順に最も多く存在します。、

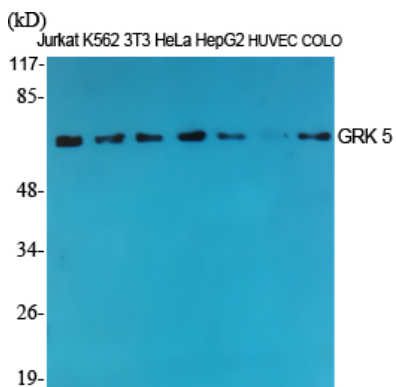
研究分野

ケモカイン;エンドサイトーシス;

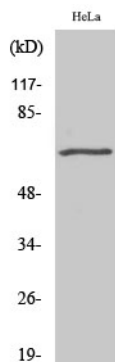
画像データ



GRK5 抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



GRK5 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



GRK 5 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析

